

早川よしゆき 市政報告

第26号

謹賀新年

旧年中皆様には大変お世話になりました。
本年もどうぞよろしくお願ひします。

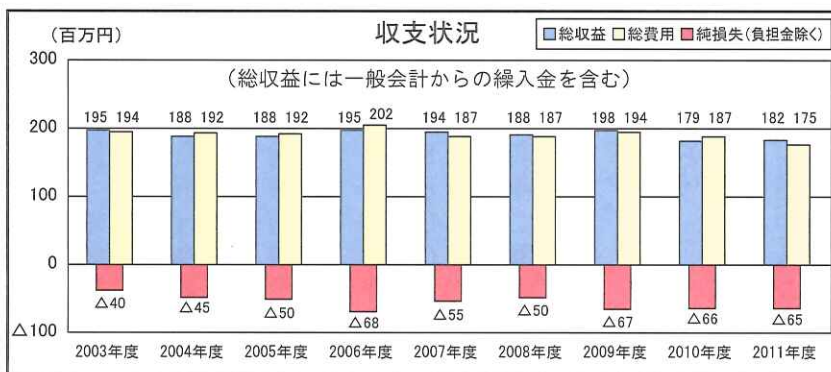


福山市民病院附属加茂診療所が 平成25年3月31日をもって廃止



昨年12月本会議で廃止が賛成多数で決定しました。決定の背景には次のような理由があります。

- ① 外来患者数の漸減傾向（グラフを参照）がある。2003年は1日当たり63・6人、2011年は37・5人。この10年余りで4割強の減少。
- ② 加茂診療所は昭和50年に建設（鉄筋コンクリート造、地上4階、延べ床面積1866・8㎡）建



築後37年経過し、耐震結果によると耐震基準を満たしていない建物であり、大規模な地震による倒壊の危険性が高い。

③ 5キロ圏内には中国中央病院をはじめ多くの医療機関が存在している。

④ 加茂診療所（田原、広瀬、山野診療所）の収支状況は年間6千万円余りの慢性的赤字が続いている。

決定的な理由は適切な医師を固定的に常駐してもらおうことが大変困難な状況にある、ということなのです。全国的に医師不足の状況がある中、現在、福山市民病院では急性期医療とガン医療を中心とした高度で良質な医療を提供できる中核病院として506床（現在は400床）に向け病棟の増築工事を行っています。そのため更なる医師が必要となる状況下、市民病院から加茂診療所へ常駐医師を派遣するのは困難である等の理由によるものです。しかしながら加茂の地域で生まれこの地で今日まで生活してきた者にとりましては単なる地域医療の拠点であるという面の

みならず、深安郡加茂町時代に先代が苦勞して建築した公的施設がその役目を終え、有名無実化するに断腸の思いがします。

加茂や山野地域に住まれる皆さんにとりましては、この跡地利用をどうするか多くの議論が待たれます。市としては「遊休等財産活用整備検討委員会」において全庁的に対応するとのことですが、

山野、田原、広瀬の各診療所は従来どおり診察を行い、又、加茂診療所の患者さまが受診を希望される場合は医療機関へ紹介により丁寧引き継ぎを行うとのことですが、



加茂診療所

早川佳行の
主な役職

59才

福山市議会議員

五期目

総務委員会 委員

行財政改革特別委員会 委員

福山市個人情報 委員

保護審議会 委員

福山市社会教育委員会 委員

ふくやま美術館及び 委員

書道美術館運営委員会 委員

年4回本会議ごとに発行し

ますので、ご意見、ご希望

などをお聞かせ下さい。

早川 佳行

発行者

福山市議会 水曜会
市議会議員 早川 佳行

住所 福山市加茂町下加茂1901
 電話 972-3195
 事務所 福山市加茂町上加茂265
 電話 972-8999
 FAX 972-2093

水曜会

第26号

平成25(2013)年1月発行

発行者 福山市議会 水曜会
住所 〒720-8501
福山市東桜町3番5号
電話 084-928-1123
FAX 084-920-1104



十二月定例市議会

本会議は十二月四日開会。夜間成人診療所指定管理料や小・中学校の体育館耐震改修工事費の一般会計補正予算案など、33議案を賛成多数で可決しました。また、議員提案の「福山市議会基本条例及び福山市議会議員の政務調査費の交付に関する条例の一部改正案」など3議案も、賛成多数で可決しました。

12月補正予算額

一般会計	30億9,269万円
特別会計	13億6,929万円
企業会計	△3億2,942万円
補正予算総額	
(全会計)	43億6,481万円



水曜会の面々

夜間成人診療所の指定管理料に4億2845万円

本市三吉町に開設する「夜間成人診療所」の指定管理料に、来年度から五年間で4億2845万円の債務負担行為として計上。その他、小学校屋内運動場耐震補強設計費2500万円・リーデンローズの舞台音響設備改修費1億8800万円などです。商業施設特別会計では、来春に再オープンする福山ロッツの改修費用などです。

債務負担行為とは、地方公共団体が建設工事をしたり土地を購入する場合、数年度にわたる債務を負担する将来の財政支出を承認する行為を議決することを言います。

競馬事業廃止に伴い協力金支給条例案を可決



競馬事業廃止に伴い、この度は2億円の補正予算案を可決しました。競馬関係者への生活支

63年間続いた福山市営競馬、3月末廃止へ

福山市営競馬は、昭和24年から63年の長きにわたり競馬ファンに愛され親しまれてきましたが、3月末で廃止となります。

今日まで、約411億円余を市財政に繰り入れ、戦後復興はもとより都市規模拡大期における小・中学校建設やスポーツ、文化施設など、都市整備の財源として活用され、市民生活と市民福祉の向上に大きな貢献を果たしてきました。

しかし、レジャーの多様化や景気の低迷により、公営競馬を取り巻く環境は厳しくなり、平成10年度以降目的とする収益繰り入れは細くなり、累積赤字は約19億円となりました。

羽田市長は、平成24年11月、今年度の単年度収支の黒字は困難な状況で、来年度の予算も組めないことから英断し、廃止を表明しました。

今後は、6局13部22課で構成する庁内組織「競馬連絡調整会議」競馬事務局内には「総合相談窓口」を設置し円滑な再就職と生活支援の推進に取り組まれます。

援や再就職に伴うものであり、支給に係わる必要な条例も可決しました。競馬事業に係わりのある従業員等に対するものであり、内容的には庁内に設置された競馬連絡調整会議で調整中です。

市長ら特別職等の給与3%減額を継続

この改正案は、平成十四年十二月議会、厳しい社会情勢などを総合的に勘案し、市長などの給料月額を期間を決め、3%減額措置をするための条例で、今回9回目の延長となります。

水曜会の討論

本補正予算は、いずれも市民生活にとって必要なものであり、さらに競馬事業に係わっては、課題整理に細やかな配慮と適切な対応が出来る様、強く要望し、賛成しました

一般質問に水曜会から五人が登壇
羽田皓市長を質す

六月議会から始まった一般質問は、今定例会でも実施され、水曜会は5人が登壇。羽田皓市長を質しました。十二月議会で水曜会の一一般質問者と主な質問項目は、左記の通りです。

- 熊谷寿人 平成二十五年度の予算編成について
 - 高田健司 福山ロッツの今後の運営について
 - 大田祐介 学校図書館について
 - 榊原則男 井笠バス廃止に伴う市民生活への影響について
 - 連石武則 合併建設計画の変更について
- 詳細は、一月一日発行の「福山市議会だより」に掲載されます。